

なかま

プリンストン日本語学校新聞



平成25年度 No.25号

平成25年11月10日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

木枯らしの 後にオリオン 凜として
秋の陽を 纏いて明かし 林道

今日の予定

表現学習発表会 (中学生以上) 1 日目

今後の行事予定

11月17日 表現学習発表会 (中学生以上) 2 日目

12月8日 学芸会 (幼)、学習発表会 (小学生)

1月5日 書き初め

1月12日 書き初め Pコース、高等部説明会

秋祭りの総収益 \$ 5,330 が父母会から学校に寄付されました!

10月6日に開催された「秋祭り」は大盛況のイベントとなりその収益全額が学校運営資金として秋祭りを主催した父母会から学校へ贈呈されました。今回の御寄附に対し学校を代表して心から父母会の皆さまにお礼

申し上げます。また、引き続き本校への温かいご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

総務長 辰巳雄一



多くの皆さんに見ていただきたい!!

表現学習発表会では例年、中高生の意見発表が行われています。多くの皆さんに生徒の素晴らしい生の声を聞いていただきたいと思っています。

2年生の「秋の俳句」です (1)

あきのいろ	オレンジばかり	もうあきだ	アクトン	智也
やまいもを	ひろってたべた	おいしいよ	イエイ	咲莉
くりごはん	おいしいくりだ	くりごはん	岡川	周矢
さんまさん	たべてもいーい	おいしそう	奥村	美柚
あきのじき	ねこじゃらしゆれ	きもちいな	鴨田	萌愛
くりごはん	パパがつくって	おいしいな	小林	花凜
あきのにおい	草とはっばの	においだね	佐藤	彩良
さんまはね	秋のたべもの	おいしいな	橘	英資
秋がきた	はっばがおちて	きれいだね	田中	杏夏
へんそうし	おばけもびっくり	ハロウィンだ	仲村	夏惟
すず虫の	リンリンおとが	きこえるよ	西井	優和

「宮沢賢治」ってどんな人? (3) 芝崎雅行

1920年代の東北(というより、日本)で、当時、最新の竹針の蓄音機を使って、夜な夜なベートーベンを聴いていた人って、たぶんあんまりいなかったよね。輸入ものがほとんどの高価なクラシックレコードが、東北の片田舎で、どんどん売れてるって言うので、ポリドールレコード社が調査したら、花巻の農学校の風変わりな教師が、一人で新譜レコードを買いあさっていた、ということが分かって、感謝状が賢治に贈られたこと、それだけではなく、賢治はすぐに使えなくなってしまう竹針の改良版を考案して、米国ビクター社に試作品を送ったりもしていたこと。相当に、コッテいたんだよね。(Google検索「宮沢賢治 レコード店 ポリドール」)

新幹線盛岡駅を降りてみると「賢治」と「啄木」が何かと目に入ってくるんだけど、この二人、旧制中学校の同窓生(2年違い)だった。石川啄木というと、「たはむれに母を背負いてそのあまり軽きに泣きて三步あゆまず」と、僕は小学生の時に覚えた短歌で、「貧困どん底」の暗い一面的イメージしかないのだけど(My apology!)、この苦しい時代に、教師の給料(高給だったって話もあるけど)でレコード集めなんかしてて良いわけ? 高価なチェロも買ってきて、東京に出た時には、プロのチェロ奏者の自宅に押しかけてレッスンを受けてたりもしている。全く、金持ちの息子は、いいねえ!!

でも、賢治の話はそこで終わりにならないんだよね。30歳になって、5年勤めた農学校教師をあっさり辞めてしまうのだけど、じゃあ、何をするかというと、「百姓」になって、誰の世話も受けず一人で生活をする、という。「どうせ、金持ちの道楽だ」と言われた、とか。だけど、賢治は農作業の傍ら「羅須(らす)地人協会」という私塾を作って「農民芸術概論綱要」を、そこで使う教科書として書き上げたわけで、うん、単なる放蕩息子じゃなかった。(そういえば、教師時代、賢治は教科書は使ったことがないっていうけど、教科書を使わない教師って、生徒に尊敬されるんだよね)僕は『セロ弾きのゴーシュ』が大好きなんだけど、こういう作品に結実した結果をみると、もう、人間として何も文句は出ません。(副総務長)

無灯火の自転車は危険です!

夏時間が終わり、夕方が急に暗くなるような時期になりました。自転車で事故に遭わないように気を付けましょう。